



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 理研コランダム株式会社  
 コード番号 5395 URL <http://www.rikencorundum.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 下村 洋喜  
 (氏名) 杉浦 順  
 配当支払開始予定日

TEL 048-596-4411  
 平成27年9月14日

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	2,228	△2.2	37	△41.8	113	4.7	103	13.6
26年12月期第2四半期	2,278	△0.7	64	24.7	108	5.2	91	29.0

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 254百万円 (2,985.7%) 26年12月期第2四半期 8百万円 (△96.7%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	11.15	—	—	—
26年12月期第2四半期	9.79	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	7,344	—	4,836	—	—	65.8
26年12月期	6,831	—	4,609	—	—	67.5

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 4,836百万円 26年12月期 4,609百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年12月期	—	3.00	—	3.00	円 銭	6.00
27年12月期	—	3.00	—	—	円 銭	—
27年12月期(予想)	—	—	—	3.00	円 銭	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,593	△1.3	74	△39.6	212	△16.4	191	△4.4	20.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	10,000,000 株	26年12月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	774,898 株	26年12月期	774,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	9,225,328 株	26年12月期2Q	9,245,053 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安および原油安傾向で推移するなか、輸出関連大企業を中心に企業収益に改善がみられるなど、緩やかな景気回復基調が続いております。しかしながら、鉱工業生産指数でみても前年同期の水準には達していない等、生産については一部に弱さがみられました。

このようななか、当社グループの売上については、ユーザーである製造業の生産推移と相まって前年同期との比較では下回り、売上高2,228,036千円(前年同期比2.2%減)となりました。

また利益面においては、円安に伴う輸入調達価格の上昇や昨年の不動産賃料改定の影響等から営業利益は37,479千円(前年同期比41.8%減)となりましたが、経常利益については持分法適用関連会社である中国の研磨布紙製品製造販売の合弁会社「淄博理研泰山涂附磨具有限公司」の好業績寄与等から経常利益は113,445千円(前年同期比4.7%増)となり、四半期純利益は102,839千円(前年同期比13.6%増)となりました。

なお、当社は生産効率の更なる向上を図る観点から生産体制を当社に一元化したため、連結子会社1社を解散することとし手続きを開始いたしました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

## (研磨布紙等製造販売事業)

当社グループの中核事業である研磨布紙等製造販売事業の当第2四半期連結累計期間の業況は、コンシューマ向けや海外向け全般については堅調であったものの、主要販売業種先である住宅建材・木工関連業界向けやソーラ一加工業界向けが引き続き軟調であったこと等から、売上高は1,794,793千円(前年同期比3.7%減)、営業利益は17,464千円(前年同期比45.8%減)となりました。

## (OA器材部材等製造販売事業)

当社グループは、複写機、ATM、ファクシミリ、印刷機等の事務機器に組み込まれる紙送り用各種ローラー部品を受注生産しております。

グリップローラーやスポット物の受注が増加したことから、売上高は307,243千円(前年同期比12.8%増)、営業利益は47,137千円(前年同期比19.7%増)となりました。

## (不動産賃貸事業)

株式会社ダイエーに賃貸しております理研神谷ビルの平成26年3月の賃料改定要因から、賃料収入による売上高は126,000千円(前年同期比11.7%減)、営業利益は91,554千円(前年同期比15.7%減)となりました。

なお、昨年より実施しておりました理研神谷ビルの耐震補強工事は、平成27年5月に完工いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〈財政状態〉

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ512,811千円増加し、7,344,145千円になりました。これは主に、売上高の一時的な減少および第3四半期会計期間の生産日数の減少に備えて増産したことによりたな卸資産が105,626千円増加、耐震補強工事に伴い有形固定資産が128,082千円増加、時価評価額の増加等により投資有価証券が179,381千円増加、また持分法投資利益等の計上により関係会社出資金が61,488千円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ286,430千円増加し、2,508,612千円になりました。これは主に、固定資産の取得により圧縮見込相当額である圧縮未決算特別勘定が106,523千円減少しましたが、資金調達を受取手形の割引から借入による方法に変更したことや耐震補強工事の支払いのため借入金が増加した421,640千円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ226,381千円増加し、4,835,533千円になりました。

〈キャッシュ・フローの状況〉

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて8,759千円（1.9%）減少し、451,412千円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、155,356千円（前年同期は129,783千円の獲得）となりました。

資金増加の要因としては、税金等調整前四半期純利益の計上125,644千円、非資金取引である減価償却費69,568千円および固定資産圧縮損88,523千円が主なものであります。

一方、資金減少の要因としては、役員退職慰労引当金の減少51,915千円、非資金取引である持分法による投資利益65,511千円、売上債権の増加59,168千円、たな卸資産の増加104,564千円と圧縮未決算特別勘定戻入額106,522千円が主なものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、240,888千円（前年同期は78,448千円の支出）となりました。

資金増加の要因としては、定期預金の払戻しによる収入80,000千円が主なものであります。

資金減少の要因としては、有形固定資産の取得による支出321,800千円が主なものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果調達した資金は、385,952千円（前年同期は110,411千円の支出）となりました。

資金増加の要因としては、長期借入金の増加500,000千円が主なものです。一方、資金減少の要因としては、長期借入金の返済による支出78,360千円、配当金の支払額27,278千円が主なものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

詳細につきましては、平成27年8月4日付けにて公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後も全社一丸となって業容拡大に向け、新製品、新市場の開発等に全力を挙げて取り組んでまいり所存であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

（i）棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基盤として合理的な方法により算定する方法によっております。

（ii）繰延税金資産及び繰延税負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	540,171	451,412
受取手形及び売掛金	1,046,902	1,107,082
商品及び製品	670,500	676,736
仕掛品	528,684	627,280
原材料及び貯蔵品	214,765	215,559
その他	67,090	125,014
貸倒引当金	△808	△614
流動資産合計	3,067,304	3,202,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,471,910	3,781,109
減価償却累計額	△2,576,444	△2,604,018
建物及び構築物(純額)	895,466	1,177,091
機械装置及び運搬具	1,715,941	1,743,174
減価償却累計額	△1,542,688	△1,566,638
機械装置及び運搬具(純額)	173,253	176,536
その他	1,129,370	974,182
減価償却累計額	△402,161	△403,799
その他(純額)	727,209	570,383
有形固定資産合計	1,795,928	1,924,010
無形固定資産		
投資その他の資産	38,766	38,168
投資有価証券	706,626	886,007
関係会社出資金	1,163,686	1,225,174
退職給付に係る資産	13,934	26,905
その他	63,490	67,462
貸倒引当金	△18,400	△26,050
投資その他の資産合計	1,929,336	2,179,498
固定資産合計	3,764,030	4,141,676
資産合計	6,831,334	7,344,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	818,966	831,697
設備関係支払手形	209,985	180,493
短期借入金	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	131,908	227,241
未払法人税等	16,422	6,032
圧縮未決算特別勘定	176,654	70,131
その他	158,004	142,043
流動負債合計	1,591,939	1,537,637
固定負債		
長期借入金	233,492	559,799
繰延税金負債	159,506	231,707
修繕引当金	54,933	56,786
役員退職慰労引当金	96,040	44,125
長期預り金	50,000	50,000
資産除去債務	9,047	9,139
その他	27,225	19,419
固定負債合計	630,243	970,975
負債合計	2,222,182	2,508,612
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	98,753	98,753
利益剰余金	3,672,727	3,747,889
自己株式	△146,871	△146,981
株主資本合計	4,124,609	4,199,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,317	281,930
繰延ヘッジ損益	4,808	322
為替換算調整勘定	327,418	353,620
その他の包括利益累計額合計	484,543	635,872
純資産合計	4,609,152	4,835,533
負債純資産合計	6,831,334	7,344,145

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,277,886	2,228,036
売上原価	1,703,891	1,678,651
売上総利益	573,995	549,385
販売費及び一般管理費	509,611	511,906
営業利益	64,384	37,479
営業外収益		
受取配当金	8,741	11,128
持分法による投資利益	47,227	65,511
為替差益	—	1,625
その他	6,428	6,281
営業外収益合計	62,396	84,545
営業外費用		
支払利息	3,546	2,620
売上割引	5,369	5,266
為替差損	6,482	—
その他	3,011	693
営業外費用合計	18,408	8,579
経常利益	108,372	113,445
特別利益		
圧縮未決算特別勘定戻入額	—	106,522
補助金収入	66,803	—
受取保険金	65,925	—
特別利益合計	132,728	106,522
特別損失		
災害による損失	60,524	5,800
固定資産除却損	851	—
固定資産圧縮損	64,867	88,523
特別損失合計	126,242	94,323
税金等調整前四半期純利益	114,858	125,644
法人税、住民税及び事業税	12,273	3,807
法人税等調整額	12,039	18,998
法人税等合計	24,312	22,805
少数株主損益調整前四半期純利益	90,546	102,839
四半期純利益	90,546	102,839

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90,546	102,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,214	129,614
繰延ヘッジ損益	△4,356	△4,487
為替換算調整勘定	△6,307	2,914
持分法適用会社に対する持分相当額	△57,432	23,288
その他の包括利益合計	△82,309	151,329
四半期包括利益	8,237	254,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,237	254,168
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	114,858	125,644
減価償却費	77,127	69,568
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,487	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△12,971
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△20,811	△51,915
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,088	7,456
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△7,777	1,853
受取利息及び受取配当金	△8,800	△11,179
受取商標使用料	△4,649	△4,930
支払利息	6,422	3,245
為替差損益 (△は益)	509	8
持分法による投資損益 (△は益)	△47,227	△65,511
固定資産除却損	851	—
固定資産圧縮損	64,867	88,523
売上債権の増減額 (△は増加)	15,237	△59,168
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20,657	△104,564
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,894	12,293
補助金収入	△66,803	—
受取保険金	△65,925	—
圧縮未決算特別勘定戻入額	—	△106,522
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	1,674	△7,631
その他	△11,226	△36,622
小計	80,989	△152,423
利息及び配当金の受取額	8,800	10,658
利息の支払額	△6,149	△3,263
商標使用料の受取額	3,633	4,003
保険金の受取額	65,925	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△23,415	△14,331
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,783	△155,356
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△141,065	△321,800
無形固定資産の取得による支出	△4,441	△853
補助金の受取額	66,803	—
定期預金の払戻による収入	—	80,000
貸付けによる支出	△200	△840
貸付金の回収による収入	455	2,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,448	△240,888
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	—
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△135,230	△78,360
社債の償還による支出	△27,800	—
自己株式の取得による支出	△12,416	△111
配当金の支払額	△27,690	△27,278
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,275	△8,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,411	385,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,965	1,533
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△63,041	△8,759
現金及び現金同等物の期首残高	490,696	460,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	427,655	451,412

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,862,878	272,363	142,645	2,277,886	-	2,277,886
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,862,878	272,363	142,645	2,277,886	-	2,277,886
セグメント利益	32,236	39,364	108,641	180,241	△115,857	64,384

(注) 1. セグメント利益の調整額△115,857千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,794,793	307,243	126,000	2,228,036	-	2,228,036
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,794,793	307,243	126,000	2,228,036	-	2,228,036
セグメント利益	17,464	47,137	91,554	156,155	△118,676	37,479

(注) 1. セグメント利益の調整額△118,676千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。